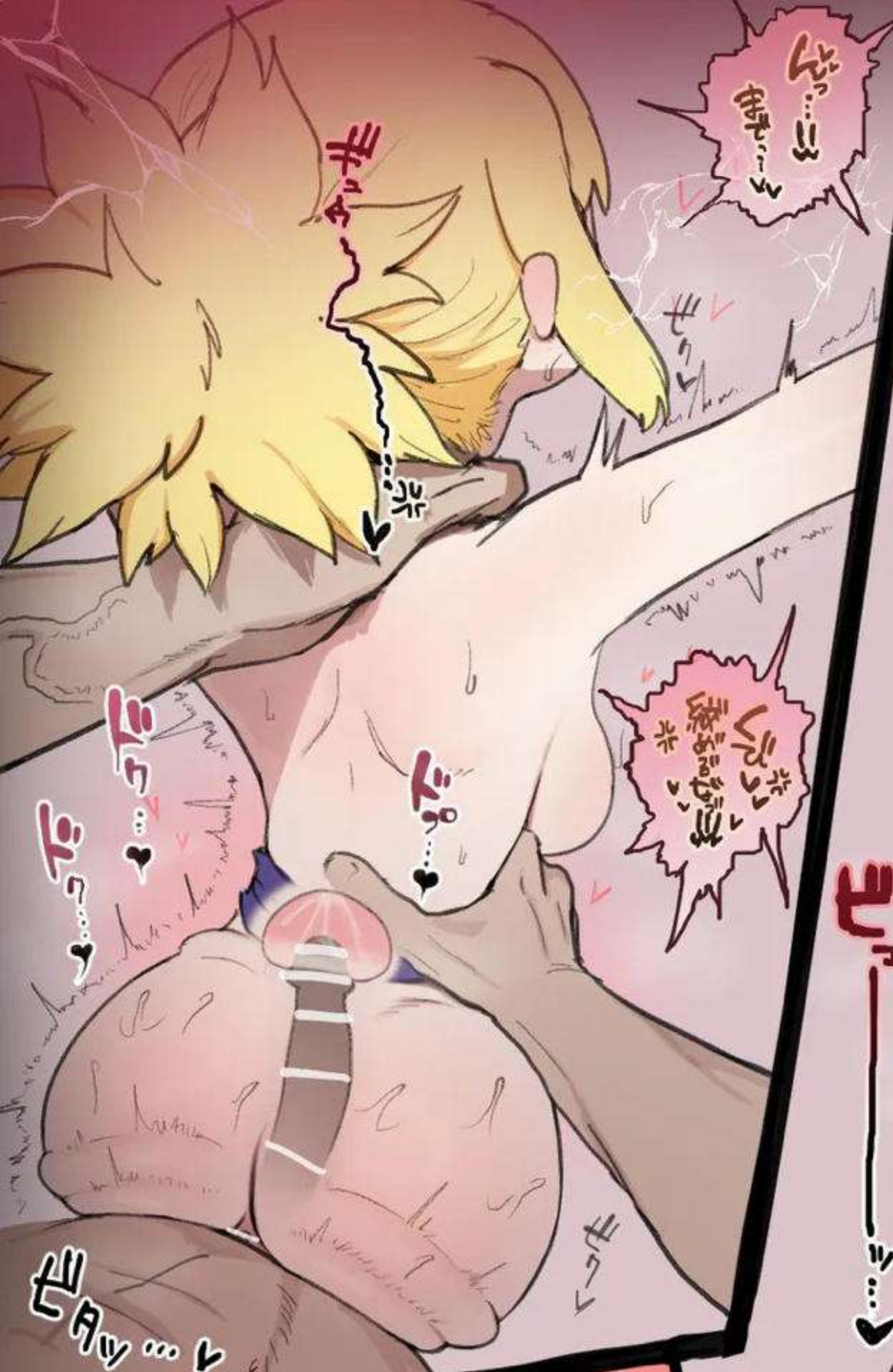






村でコハクの姿が見られなくなって数カ月ほど経ち、金狼・銀狼はマグマの部屋へ招かれた。そこには彼らの知っているコハクの姿は無く、彼女がどんな扱いを受け過ぎたのか。

普段絶対知ることのない“雌”としての顔。主である男の色に塗り替えられたであろう性癖まで、容易に想像できるほど変わり果てていた。





村でコハクの姿が見られなくなって数カ月ほど経ち、金狼・銀狼はマグマの部屋へ招かれた。そこには彼らの知っているコハクの姿は無く、彼女がどんな扱いを受け過ぎたのか。

普段絶対知ることのない“雌”としての顔。主である男の色に塗り替えられたであろう性癖まで、容易に想像できるほど変わり果てていた。





村でコハクの姿が見られなくなって数カ月ほど経ち、金狼・銀狼はマグマの部屋へ招かれた。そこには彼らの知っているコハクの姿は無く、彼女がどんな扱いを受け過ぎたのか。

普段絶対知ることのない“雌”としての顔。主である男の色に塗り替えられたであろう性癖まで、容易に想像できるほど変わり果てていた。





村でコハクの姿が見られなくなって数カ月ほど経ち、金狼・銀狼はマグマの部屋へ招かれた。そこには彼らの知っているコハクの姿は無く、彼女がどんな扱いを受け過ぎたのか。

普段絶対知ることのない“雌”としての顔。主である男の色に塗り替えられたであろう性癖まで、容易に想像できるほど変わり果てていた。





















